

事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和2年 2月 28日

事業者名:特定非営利活動法人シャアスターと和歌山
事業所名:なないろ

		チェック項目	はい	いいえ	どちらともいえない	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	15	2	1	<ul style="list-style-type: none"> 充実した環境、開放感のある広いスペース 職員で相談し午後より合同療育や活動室の後退などをしている トイレが少し狭い 	<p>全体的に職員不足ということではない、1日10~15名は出勤しているが、各クラスに配置を分けているため、1対10対応が困難な現状がある日がある。</p> <p>現状課題については職員より報告相談がある為、人員の確保として求人募集を行った。</p> <p>今年度、4月1名、7月3名、9月2名、12月2名、2月4名を採用。さらに来年度4月にはさらに2名採用が決定している。引き続き、各クラス安定した支援体制を行っていきたい。</p> <p>なないろは、働く側の職員に対しても支援体制を充実させたい方針であるため、プロ意識を高めて頂くと共に勤務形態についても職員同士が理解しあう関係性を深めてほしいと願っている。体調不良で休みがちな職員と定期的に勤務する職員との温度差が広がらないよう日々の事情を認め合い、その上で子ども達への支援充実を目指したいと考えています。</p> <p>合同の良さを活かせるときは良いが、職員にとっても負担になるような不満場面をつづっていくことのないよう引き続き努力していきます。</p>
	2	職員の配置数は適切であるか	11	6	1	<ul style="list-style-type: none"> 手厚い職員配置が出来ている その日により人数不足の現状、多い 幼稚園等並列利用されている利用者が多く長期休暇にスペース職員が足りなくなることが多い 児童福祉療育では専門的情報や指導員育成に不安 	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	13	3	2	<ul style="list-style-type: none"> 各部屋、クラス分けているが、子ども達が部屋を覚えている。認識しやすいバリアフリー化ではないが全面フォローをする体制 職員が工夫しながら、日々改善に努めている(荷物棚等) 情報伝達は不十分に感じる 階段が急ではあるが登園時は職員が対応している 情報伝達は適切 現施設では困難だが完全バリアフリー化や二階へのエレベーター移動が適切である 	<p>現状は、テナントにて運営支援の体制であるため限界がある。</p> <p>安全面や衛生面については現状可能な限りの対応を全力で新設時には直接支援に携わる職員からの提案や意見を活かし現実化していくよう努めたい。</p> <p>新設目標は令和4年!</p>
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	15	3		<ul style="list-style-type: none"> 常にアルコール除菌による清掃 毎日の掃除で清潔 トイレの数、手洗い場の数が足りない 	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	15		3		
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	13		6	<ul style="list-style-type: none"> 昨年度の意見を参考に実施 	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	15		3	<ul style="list-style-type: none"> 期日中に公開 	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	10	1	7		
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	17		1	<ul style="list-style-type: none"> 研修はあるが色々な課題等に関する研修があればよいと思う 	<p>支援に活かせるよう、学びを求めてくれている職員が大変多く、自己研鑽、自己啓発に努力していただいている。</p> <p>さらに希望があれば、定期的な専門的研究の実施を行っていきたい。</p>
適切な支	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を作成しているか	17		1	<ul style="list-style-type: none"> 3ヶ月~6ヶ月に1回のペースでモニタリング 子どもの自立支援計画の向上に努める 	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	16		2		
	12	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画には、子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	15		3		
	13	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われているか	17		1	<ul style="list-style-type: none"> 十分に行われている 適時モニタリングし記録の上評価し次の支援に活用 	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	16		2	<ul style="list-style-type: none"> 各クラス、メインメンバー等が毎日実施 発達段階、課題などをチームで検討する 	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	16		2	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの成長に合わせ打合せの上設定を工夫 	

援の提供	16 (放課後等デイサービスのみ) 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	14	1	3		
	17 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を作成しているか	17		1	・保育と療育目標で実施、発達バランスでも現わしている ・年齢別又は発達課題別に支援グループを分ける事を考慮	
	18 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	17		1	・朝クラスの代表がミーティング	
	19 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	12	4	2	・職員の帰る時間がバラバラで支援終了後に打合せは難しいが次の日の朝に打合せをする	
	20 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	17		1	・支援の狙い、見通しについて明確に記載する	
	21 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	15		3	・目的設定や支援内容をモニタリング時に改善する	
	22 (放課後等デイサービスのみ) ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	9	1	8		
関係機関や保護者との連携 関係機関や保護者との連携	23 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	16		2		
	24 (児童発達支援のみ) 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	16		2	・本人の強みや願いに近づく適切な目標を設定し支援する	
	25 (放課後等デイサービスのみ) 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	14	1	3		
	26 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健・医療・障害福祉・保育・教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	10	3	5	・音楽や歌スキンシップ ・地域の子ども達と共に遊びに参加し色々な体験の機会を提供している	
	27 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	12	2	4		医師からの指示書内容に従い看護師がケアにあたっています
	28 (児童発達支援のみ) 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	13	1	4	・乳幼児健診結果を積極的に引き継ぐことが重要	
	29 (児童発達支援のみ) 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	12	1	5	・専門的な視点で子どもの状況を継続的に支援する	
	30 (放課後等デイサービスのみ) 就学前に利用していた保育所や認定こども園、幼稚園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	11	2	5		
	31 (放課後等デイサービスのみ) 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	10	6	2		
	32 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	13	1	4	・言語聴覚士、医師などの専門に沿った助言を受けたい	
	33 児童発達支援の場合は、保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合は、放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会があるか	14	3	1	・これからも引き続き活動を増やしていくたい	
	34 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	9	4	5	・予定が合えば参加している。 ・現場を離れる事が難しい日が多い ・参加可能であれば参加したい	

	35	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	16	2	・毎日行っている	
	36	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	12	2	4	・助言を行っている ・アドバイス等も十分に行っている ・子どもの状況により接し方を助言
保護者への説明責任等	37	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	17	1		
	38	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画の同意を得ているか	16	1	1	
	39	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	17		1	・十分に行っている ・送迎時やLINEで実施
	40	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	8	6	4	・機会を設ける事が出来ずにはいる。今後体制を整えていきたい
	41	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	18			・個別的に配慮し慎重に行う
	42	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	13	2	3	・家族が安心できるよう会報の発行が必要 お知らせが必要の機会にはその都度発行している 定期的な会報については専属で作成を担当できる職員の確保ができた際には実施したいと考え
	43	個人情報の取扱いに十分注意しているか	17		1	・注意している ・利用目的を具体的にすることが望ましい
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	16		2	・障害の度合いにより保護者への説明、特性に合う対応
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	10	2	6	・事業所主催のイベントなどの書類を作成し支援を計ることが必要
	46	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	17		1	・緊急連絡体制を整備し、職員の居住場所や通勤手段によって災害発生時に集まる事ができる職員を把握し、役割分担し迅速に対応する事が望ましい
非常時等の対応	47	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	18			・定期的に避難訓練を実施 放デイ対象の子ども達が利用する時間帯に未実施の為今度計画を立てていく
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	17		1	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示所に基づく対応がされているか	14		4	・食物アレルギーの管理は行っているが、医師の指示書まではもらっていない
	50	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	14	1	3	・対応方法や書類の記入方法について協議し、事例集を作成するとよい
	51	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	13	1	4	
	52	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行つかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画に記載しているか	13	2	3	・身体的拘束をする必要とする子どもがない ・事業所と保護者と連携し対象児童がいれば専門家に連絡し指示を仰ぐ

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。